



アバタ変状表層イメージ拡大図

Ls: 石灰岩系

An: 安山岩系

特徴

- An系骨材 小径、突出、鋭角、凸状で凹部なし
- Ls系骨材 表層凹部、波状(非平滑)、周辺分離あり
- ポットホール型(コンクリート基質のみ骨材なし)
- 基質は硬質、境界部は鋭角、円味なし
- ポットホール型もエッジは鋭角、円味なし
- 石灰岩表面は複合具殻状で平滑でない。

図 2.8 アバタ状劣化スケッチ図

(2)水質調査

貯水池上流等 33 箇所で採水し簡易水質試験(水温、pH、電気伝導度)を行った。結果を表 2.3、図 2.9 に示す。水質からは、劣化の原因となるような要因は見出せない。

表 2.3 簡易水質調査結果一覧表

表 2.1 簡易水質一覧表

番号	場所・特記	日時	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	RpH	電導度 (μS/cm)		分類	メモ
							測定値	18°C補正值		
1	大井野御堂滝上	3/12 10:00	3	3	6.6	6.8	33	47.1	A	支沢
2	ダム上流流入部	3/12 10:10	3	3	6.8	6.8	28	40.0	A	本川
3	カヌー発着場	3/12 10:20	3	3	6.6	6.8	27	38.6	A	湖水
4	貯水池左岸旧道	3/12 10:30	3	4	6.6	6.8	29	40.3	A	湖水
5	貯水池左岸滝下	3/12 10:35	3	5	6.6	6.6	29	39.2	A	支沢
6	＝32 ダム湖水	3/18 13:30	7	7	6.8	6.8	31	39.7	A	後日
7	発電所横法面	3/12 10:45	3	3	6.2	6.4	29	41.4	A	法面
8	発電所下流地山	3/12 10:50	3	9	6.2	6.2	29	35.4	A	湧水
9	副ダム下流本川	3/12 11:00	5	4	6.6	6.8	29	40.3	A	本川
10	本川下流落合下	3/12 11:20	3	4	6.6	6.8	32	44.4	A	本川
11	夏日の極上水	3/12 11:50	3	10	7.0	7.2	78	92.9	-	湧水
12	右岸アバット	3/12 14:30	6	4	6.6	6.8	43	59.7	A	法面
13	監査廊溜り水	3/12 14:00	4	2	7.6	7.6	180	264.7	B	堤内水
14	亀裂中央漏水	2/27 14:00	5	3	7.4	-	80	114.3	B	排水後
15	亀裂右岸漏水	2/27 14:10	5	3	7.6	-	90	128.6	B	排水後
16	亀裂左岸漏水	2/27 14:20	5	3	7.4	-	88	125.7	B	排水後
17	減勢工内揚水	3/5 10:00	6	3	6.6	6.8	28	40.0	A	みぞれ
18	左岸R6 亀裂水	3/5 14:00	6	4	7.6	7.6	280	388.9	B	試験前
19	同上送水後	3/5 15:00	6	4	-	-	110	152.8	B	試験中
20	同上積雪 1cm	3/1 110:00	2	3	-	-	170	242.9	B	試験前
21	B-2 孔内水	3/1 110:00	2	3	-	-	49	70.0	A	試験前
22	亀裂中央漏水	3/13 14:00	7	4	7.6	7.6	170	236.1	B	施工中
23	亀裂右岸漏水	3/13 14:10	7	4	7.6	7.6	100	138.9	B	新鮮
24	亀裂左岸漏水	3/13 14:20	7	4	7.6	7.6	160	222.2	B	施工中
25	発電所横縦排水	3/13 15:20	6	4	6.8	6.8	28	38.9	A	沢水
26	管理事務所下	3/13 16:00	6	4	7.6	7.6	78	108.3	B	法面
27	管理事務所上	3/18 15:30	8	7	7.0	7.2	77	98.7	-	法面
28	1. B-2 上面	3/18 9:30	2	5	7.6	7.6	(210)	(283)	B	分析水①
29	2. B-1 下面	3/18 10:00	2	8	7.6	7.6	(740)	(925)	B	分析水②
30	3. 右岸亀裂漏水	3/14 11:30	7	4	7.6	7.6	100	138.9	B	分析水③
31	4. 発電所下湧水	3/18 11:30	7	10	6.4	6.8	30	35.7	A	分析水④
32	5. ダム湖水	3/18 13:30	7	7	6.8	6.8	31	39.7	A	分析水⑤
33	6. 監査廊内 No13 揚圧力計孔内水 (孔底水)	3/18 15:30	7	7	7.6	7.6	(1,000)	(1,282)	B	分析水⑥

《注意》

- () は食塩を用いたトレーサー試験 (投入水の電導度 EC : 約 6500 μS/cm) 実施後 5 日後に採水したもので、Na⁺、Cl⁻の濃度については自然状態とは異なる可能性がある。
- 電導度は「鶴巻 1974 大阪市立大学紀要 18 (2)」に準拠して水温による温度補正 (18°C 換算) を行った。T°C の補正電導度 : $EC_{18} = EC_t / (1 + \alpha (t - 18))$ 補正係数 $\alpha = 0.02$
- 分類 A : 湖水・流入水 (表流水) グループ、B : クラック水 (地下水) グループ